

糸人

しむぎとよ

第5回

ものづくりから場づくりへ

今月の糸人は、オカリナ製作者の千村秀治さんです。シンプルな楽器だけに誰でもすぐに音が出せるけれど、実は奥が深いオカリナ。千村さんに、オカリナ作りに込められた思いと好きなことをお仕事にする秘けつについて伺いました。

オカリナ作っているんです

糸記者(以降・糸) 千村さんは、オカリナ製作者をされていますが、オカリナとの出会いと作り始めるきっかけは何でしたか？

千村さん(以降・千村) 中学、高校と吹奏楽でトランペットを吹いていたので、音楽には興味があったんです。その後、大学の頃、趣味で縦笛をやっていました。もともと笛が好きだったので、そこからオカリナに移っていったんです。当時は、楽器屋さんで購入する市販のオカリナを使っていたのですが、色々吹いているうちに粘土で作る物だし、自分でもできるのではないかと思いつき始めました。

糸 オカリナ演奏も、なさっていましたか？

千村 多少趣味で吹いていたくらいです。宗次郎さんの演奏とか、真似して吹いていたんですが、なかなか同じように吹けなくて、もっ

と良い楽器があればうまく吹けるんじゃないかと思つて、それで自分でもちゃんと試みに作ってみました。

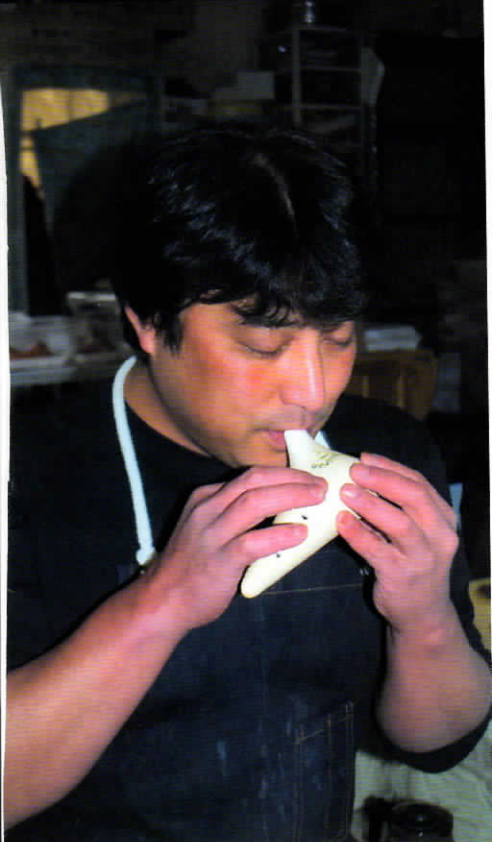
糸 どこかの工房で教わつて、作り始めたんですか？

千村 全くの独学です。オカリナ作りの本を仕入れまして、それを読んで自分なりに作ってみました。

糸 それはすごいですね。最初に作ったオカリナは音が出たんですか？

千村 出ましたよ。多分、最初に作つてみて「これは全然だめだな」と思つたらやらなかったんでしょうけど、自分でこんなこと言うのもなんですが、最初に作ったものを「市販で売っている物よりも良いんじゃないか」と思つたんですよ(笑)。

糸 それは何年くらい前なんですか？





千村秀治氏

オカリナ工房ペコラ代表、オカリナ製作・講師

手軽に楽しんで欲しい楽器オカリナ

ものづくりから場づくりへ

Profile

千村秀治(ちむら ひではる)プロフィール
1963年長野県生まれ。

子どもの頃から楽器が好きで、中学・高校時代にトランペット、大学時代にリコーダーやオカリナの演奏を楽しむ。大学卒業後、野菜作りを学ぶため八ヶ岳中央農業実践大学校へ。その後、長野県内の企業でワイン事業の立ち上げに関わり、10年間ぶどう栽培を行う。退職後、趣味で作成していたオカリナ作りがクチコミで広がり、注文が殺到。2001年よりオカリナ工房「Pecora」を立ち上げ、オカリナや土笛の製作、販売を開始。現在は、オカリナ作成だけではなく、長野市内でオカリナ教室やオカリナ製作、絵付けワークショップ等も開催中。

千村 8年前ですね。

細 それがどうして、オカリナ製作をお仕事にしようと思われたのですか？

千村 最初は、自分で使う笛を作ったからです。2001年に神戸のオカリナフェスティバルに参加するときに、自分で吹くオカリナを作っていたんです。ちょうどその頃、ワインの

ぶどう作りの仕事を辞めて次に何をしようかと思って

いたんです。そこで色々な方と話しているときに「オカリナ作ったら」と勧められました。「まあ、いつまで続かないか分からないけど、取りあえず使ってくれる人がいるんなら、作ってみるか」ぐらいの軽い気持ちで最初は始めました。

細 それが8年間も続いているって、すごいですね。

千村 今でも時々初めてお会いする方に、「オカリナ作っているんです」というと「それは仕事でやっているんですか？ オカリナで食えるんですか？」と言われるんです(笑)。

好きだったらやってみる

自分の好きなことをお仕事にする秘
けつはなんですか？

千村 好きだったらやってみたらいいんじやないでしょうか。やってみて駄目だったらしようがないと思えば、僕も2度目な
んです。ワインのぶどう作りをして
いたのですが、10年も続かずにあきらめて
しまったんです。じゃあ次に何をやる
かということで音楽が好きで楽器を作
って、それが喜んで使ってもらえるなら「取り
あえず続けてみよう」と。

千村 ぶどう作りのとくと、違いはありま
すか？

千村 ワインのぶどうつて直接お客さん
は渡らないんです。私は、ぶどう作りだ
けでワインの醸造はやっていませんでした。
それだと、世界のワインに肩を並べるも
のをやりたいという夢もなかなか叶え
られないし、お客さんの顔も見れません。
オカリナは自分で直接お客様に渡すの



●ペコラさんのエンブレム、千村さんのお
名前「ひではる」の「ひ」とペコラ(羊)を
イメージしています。カワイイ～

で、気持ちの持ちようが全く違いますね。

千村 直接の触れ合いが大切なんですね。

千村 オカリナ作りでも、自分としては
ちょっと違うタイプを作りたいと感じる
こともあります。日本でオカリナを演
奏されている方は、比較的年配の女性が
多いんです。この人たちが一番吹きやす
いものを提供していくことが大事で、「こ
んなに良い音色なんだから、これどうぞ」
というわけにはいかないんです。

千村 誇りをもっと作られているんですね。

千村 それほどじゃありませんが、でも、
誰にでも使える作品を作らなければ、
使ってもらえる人もいなくなる。演奏さ
れる人たちに喜んでもらえる物を作つて
いるだけです。

ものづくりから 場づくりへ

千村 オカリナの魅力を三言で言うとう？

千村 トランペットのような楽器と違って、
オカリナは音が出るように製作者が調
整しているんで誰でも吹けば鳴ります。
とても単純な楽器なんですけど、本当に
音楽として表現しようと思うと、誰で
も吹ける割には難しい。私はそこが魅
力だと思えますね。

千村 オカリナは、全体的に楽器のレペ
ル

制作のときに、なにかこだわりは？



●制作中のオカリナ。これから音程調整をされるそうです。

千村 私は「ものづくりから、場づくりへ」
という言葉が好きなんです。農
業、大学時代、
講演に來ていた
神田精養軒の社
長から作業着に
書いていただいた
言葉です。その本
意は今でも分か
らないんです。し
かし、私の仕事も
ものづくりです。

はそんなに高くないというのがあって
す。粘土で作る素朴な楽器なので精密
な楽器のようにはいかず、土笛だからそ
れで良いじゃないかと考えられる人もい
るかもしれません。私は色々な難しい面
をクリアし、楽器として様々な方々に提
供できればと思っています。

千村 最近では、オカリナでジャズやボサノバ
を演奏する方もいらっしゃいますね。

千村 プロ演奏家はプロとしての要求が
あると思いますが、普通の楽しみで吹く
人は音色が良いことが一番大切なのでし
ょう。製作者の思いとしては、気軽に樂
器なので二人でも多くの人に楽しんで欲
しいと思っていますね。

千村 目指しているものは何ですか？

千村 オカリナの原型は「土笛」といわれ
ているんですが、大昔は、メロディを演奏
するということよりも収穫のお祝いなどの
儀式のとき使うことが多かったみたいで
す。昔から、何か人と人のつながりを作
るための楽器だったんです。

千村 オカリナ自体が歴史的にそういう
「場」で演奏されてきたような気がし
ますね。



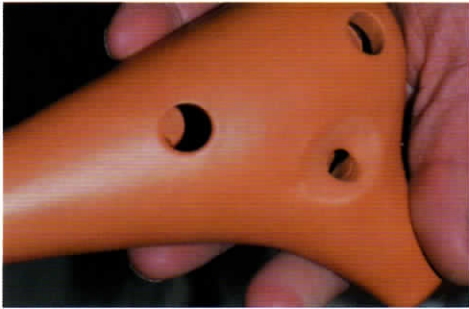
千村 オカリナとの出会いが新しい可能性
を広げてくれたんですね。
人、音楽、街、自然とつながり、素晴ら
しいオカリナを産み出し続ける千村さ
んは、既に多くの素敵な「場」を作つてい
ると思います。今日は貴重な時間を
いただき、ありがとうございました。

オカリナとは…



オカリナ 《オカリーナ、ocarina》

空気が外に抜けないようにする、閉管楽器の一つ。イタリアや日本では涙滴状の形のもの最も一般的で、世界的に見れば丸形や角形の陶器製楽器もオカリナとよばれています。素朴でまろやかな音色が特徴で、素焼きで作られ、本体に開いた6~13個程度の指穴を塞ぐ事によって音程を調節します。音域は1~2オクターブと狭く、息の強さや気温により音程が変動することもあるため上手にひきこなすのは難しいとも言われています。



オカリナを裏側からみたところ。オカリナ作りで一番大切なのは、吹き口に一番近い穴「発音孔(歌口)」。発音孔を細かく穴をあけて削っていき、その後吹き口から息の通り道と音の出る穴をあけます。これが上手いところまで最後に指穴を開けて調律します。製作者によって、この発音孔に工夫しているので、よく観察してみてくださいね。

歴史>>

起源はマヤ文明にまでさかのぼり、亀の形をしたものが発掘されています。中国および中央アメリカでは動物の形をしたオカリナが文化上重要な地位にありました。19世紀に西洋に伝わり、イタリア人のジュゼッペ・ドナティ(Giuseppe Donati)によりほぼ現在の形が確立されたそうです。オカリナの名前はイタリア語の「小さなガチョウ(oca:ガチョウ/rina:小さい)から由来しています。

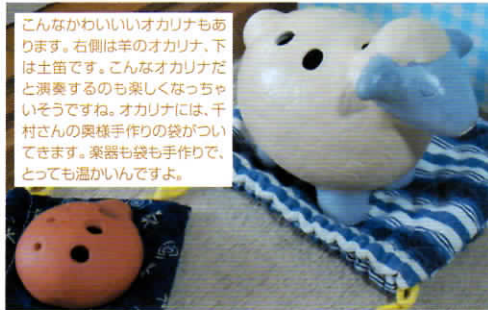
種類>>

一般的に7種類あります。小さいサイズは音階が高く、大きくなるにつれ音階が低くなります。サイズが小さい順に……

- 1, ソプラノ(ピッコロ)C調
- 2, アルトG調
- 3, アルトF調
- 4, アルトC調
- 5, テノールG調
- 6, テノールF調
- 7, バスC調

※メーカーや製作者により種類の表記が変わることがあります。

※オカリナは音域が1オクターブ半しかありません。そのためアンサンブルをする場合には多種類のオカリナを使って、音域の狭いのをカバーします。



こんなかわいいオカリナもあります。右側は羊のオカリナ、下は土笛です。こんなオカリナだと演奏するのも楽しくなっちゃいそうですね。オカリナには、千村さんの奥様手作りの袋がついてきます。楽器も袋も手作りで、とっても温かいんですよ。